



にんずう
3~5にん

じかん
15ふん

はじめに

北海道では、2050年までの「ゼロカーボン北海道」を目指しています。ゼロカーボンは、皆さん一人ひとりの生活や行動を変えていかないと達成することの難しい、とても大きなチャレンジです。実際にどんなことに取り組みが良いのか、遊びながら楽しく学んでほしいという思いから、このボードゲームをつくりました。また、檜山地域の観光名所の写真が印刷されたボードやカードからは、檜山の魅力についても感じることができますので、是非そちらも楽しみながら遊んでみてくださいね。

Q&A ゼロボンってどんなゲーム？

ボード上の檜山管内の各町のエリアに置かれた駒をプレイヤー同士でカードゲームをしながら取っていき、獲得できた駒の数を競うゲームです。この駒は、いわゆる「カーボン」のことで、ボード上から駒がすべてなくなったら（檜山地域全体がゼロカーボンになったら）、ゲームが終了となります。これは、このボードゲームをとおして、皆さんの力を合わせて檜山をゼロカーボンにすることをイメージしています。また、ゲームをより盛り上げるための特殊ルールとして、ゲーム内でイベントを発生させる「SP（スペシャル）カード」や、一定の条件をクリアしたときに獲得できる「ボーナスポイント」などもあります。さあ、みんなでゼロカーボンひやまを目指しましょう！

内容物

- ボード … 1個
- ゼロカーボンカード … 計63枚
 - アクションカード … 42枚
 - SP（スペシャル）カード … 21枚
- ボーナスクード … 8枚
- カーボン駒 … 計35個（7色の駒が5個ずつ）
- ボーナスク駒 … 30個（白色の駒）

※詳しくは、次の「ゲームの準備」の写真をご覧ください。

ゲームの準備

1. ボード上の各町のエリア内に、カーボン駒をそれぞれ5つつ置きます。
2. 「ゼロカーボンカード」（「アクションカード」と「SPカード」を混ぜたもの）を各プレイヤーに3枚ずつ配り、残りのカードは山札として近くに置きます。
3. 「ボナスクード」の山札を、そのとりに置きます。
4. 好きな方法（じゃんけんなど）で順番を決めたら、いよいよゲームスタートです。



● 材料には、すべて道産木材を使用しています！

- ボード ⇒ 道南スギ
- 駒 ⇒ ヒバの間伐材の枝
- カード ⇒ カバの用紙

ゲームのルール

基本ルール

- プレイヤーは、自分のターンごとに、手持ちのゼロカーボンカードを1枚使うことができます。（使ったカードは、山札とは分けてまとめて置いてください。）
- 2ターン目以降は、山札からカードを1枚引いてから、自分のターンとなります。
- ゼロカーボンカードを使って、ボード上から駒を取っていき、ボード上に置いてある駒がすべてなくなったら、ゲーム終了となります。
- ゲームが終了したら、各プレイヤーは、「獲得したカーボン駒の数」、「ボナスクードの点数」、「ボーナスポイント」をすべて足します。
- その合計がプレイヤーの得点となり、得点が大きい順に、順位が決まります。

＜ゼロカーボンカードについて＞

ゼロカーボンカードには、「アクションカード」と「SP（スペシャルカード）」の2種類があります。

アクションカードを使うと、ボード上から、カードに書いてある数（1または2）の駒を取ることができます。

⚠️ 注意してください

- カードの色と駒の色が異なっていても、駒を取ることができます。
- 駒を2個取るときは、必ず一つの町から取ってください。
- エリア内の駒が残り1個のとき、アクションカードの数字が2の場合でも、駒を取ることができます。

SPカードを使うと、カードに書いてある内容のイベントが発生します。（全プレイヤーの手持ちのカードをシャッフルするカードや、他のプレイヤーから駒をもらうことのできるカードなどがあります。）

＜ボナスクードについて＞

SPカードの中には、ボナスクードを1枚引くことのできるカードがあります。このカードに書いてある点数（1点～5点）は、ゲーム終了後に自分の得点に加えることができますので、ゲームが終わるまで中を見ないで、近くに置いておきましょう。

＜ボナスクポイントについて＞

次の条件をクリアすると、ボナスクポイントを獲得できます。その場合は、点数と同じ数のボナスク駒を自分の手元に置いてください。

- 各エリアの最後の駒を取るときに、
 - カードの数字と、残りの駒の数と同じ … 1点
 - カードの色と、駒の色が同じ … 1点
 - 両方同じ … 3点
- ゲーム終了時に、
 - すべての色（7色）の駒を持っている … 5点
 - 同じ町の駒をすべて（5個）持っている … 5点

高得点の獲得には、駒の取り方やSPカードの使い方の工夫が大仕事で、ルールは簡単だけど意外と奥の深いゲームになっています。勝ち負けだけにこだわらず、友達や家族でわいわい楽しく遊んでもらえる、とてもうれしいです。



北海道檜山振興局

「若手職員によるゼロカーボンひやま

チャレンジチーム」制作

ゲームについてのQ & A

Q A ゼロカーボンってなに？

地球温暖化の原因となる、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出量を**実質ゼロ(※)**にすることです。

私たちが普段生活する中では、多くの温室効果ガスが排出されています。これを減らしていくためには、自分たちのできる小さな取組をたくさん積み重ねていくことが大切なのです。

(※)温室効果ガス排出量と、森林などによる吸収量の合計がゼロになること。

Q A どうして色が違うカードや駒があるの？

檜山地域には7つの町がありますので、虹の7色とかけたカラフルなデザインにしました。

また、ゲームの中では、アクションカードや駒の色は、ボーナスポイントを獲得するうえで重要になります。SPカードの色については、ボーナスポイントなどには関係しませんが、カードに載せている各町の観光スポットの写真が、どこの町の写真かわかるように色分けをしています。

Q A 手札は、何枚あればよいの？

自分のターンを始めるときは、常に3枚となります。流れについては、次のとおりです。

- ① ゲームを始めるときに、3枚配られる
- ② 一番はじめのターンは、自分のターンのときに1枚使う
- ③ 2ターン目以降は、山札から1枚引いてから自分のターンが始まる

Q A SPカードを使って、ボーナス駒をもらうことはできるの？

できません。

一部のSPカードにある「駒をもらうことができる」カードは、あくまでカーボン駒のみが対象となります。

Q A 出せるカードがないときは、どうしたらよいの？

可能性は低いですが、手札のすべてがSPカードで、自分のターンに使うことのできるカードがないことも考えられます。その場合は、好きな手持ちのカードを1枚

山札の一番下に戻して、山札の一番上からカードを1枚引いてください。

※ 同じ種類のカードが固まることのないよう、よくカードを切ってから配りましょう。

Q A アクションカードってどんなカード？

ゼロカーボン達成のために必要な行動や取組について知ってもらうためのカードです。

この行動や取組については、主に環境省が推進している「ゼロカーボンアクション30」から選んでいます。

ゲームの中では、カードに書いてある数字と同じ数の駒をボードから取ることができる、基本のカードとなります。ゲーム中にカードを出すときには、ぜひ、書いてある言葉を口に出しながら遊んでみてくださいね。

行動や取組の名称、写真、説明文について書いています。

この数字と同じ数の駒をボードから取ることができます。

※カードの色と、駒の色が違っても駒を取ることができます。



Q A SPカードってどんなカード？

檜山管内の観光スポットの名称や写真が載っていて、皆さんに、「檜山ってこんな場所があるんだ!」などの檜山の魅力についてもっと知ってもらうためのカードです。

ゲームの中で使うと、カードに書いている内容のイベントを発生させることができます。うまく使えば、ゲームをより有利に進められるかもしれませんね!

観光スポットの名称と写真について載せています。

カードを使ったときに発生するイベントについて書いています。



Q A ボーナスカードってどんなカード？

再生可能エネルギー(※)などのゼロカーボンの達成に欠かせないものについて知ってもらうためのカードです。

ゲームの中では、一部のSPカードでこのカードを引くことができ、ボーナスカードに書いてある点数は、ゲームが終わった後に自分の得点に加えることができます。最大で5点のカードもあるので、もしかしたら最後に大逆転できるかも!?

(※)太陽の光や風の力などの自然の力によってつくられた、電気などのエネルギーのこと。

用語の名称、写真、説明文について書いてあります。

ゲーム終了時に、ここに書いてある点数を自分の得点に足すことができます。



5pt